

ご意見・質問

■【瑞浪市消防団長 西尾委員】

避難所等の整備の項目の中に、「避難生活の環境を良好に保つ設備等の整備」と記載がありますが、能登半島地震で上下水道が甚大なダメージを受け、多くの方が避難所で仮設トイレでの生活となった状況ですが、衛生的にも長期避難となると悪化すると思われまますので、市の施設に「自己完結型のくみ取り、汚泥引き抜き無し」の水洗トイレを計画的に整備していただくことを望みます。（自己完結・循環型水処理システム）

⇒市としても、能登半島地震の教訓からトイレ問題は重要であると考えており、現在携帯トイレを購入するために検討を進めているところです。ご意見の「自己完結型のくみ取り、汚泥引き抜き無し」の水洗トイレについても研究してまいります。

■【瑞浪市連合自治会長 有賀委員】

瑞浪市のハザードマップにより、水害及び土砂崩れの心配のある場所を通って指定避難所へ行く地区もあるようです。より適切な避難方法と場所について見直す必要があるのではないのでしょうか？ゲリラ豪雨のように急に増水したことにより通行不能になる場合が想定されます。

⇒ご指摘のとおり、ハザードマップ上での危険箇所を通らないと指定避難所へ行く事が出来ない地区があります。瑞浪市が中山間地域に位置しているためハザードマップ上の危険箇所が多く、全ての住宅から危険箇所を通らないルートで避難所へ行く事は不可能ですが、災害の種類、避難のタイミングや避難方法、避難場所を適切に検討すれば安全に避難する事が可能になります。現在市では、各地区で小規模防災訓練を実施しており、その地区に合った避難方法やタイミング等を指導しています。

戦争等に巻き込まれた場合の避難先はあるのでしょうか？（ミサイルの攻撃、爆弾等から）

⇒岐阜県では、国民保護法の規定に基づき、弾道ミサイル落下時の爆風等から直接の被害を軽減するための一時的な避難先として、コンクリート造りの堅ろうな建築物や地下施設（緊急一時避難施設）を指定しています。瑞浪市では次の12か所が指定されています。

- 国道19号 一色地下横断歩道
- （主）瑞浪大野瀬線 神戸地下道
- （主）多治見恵那線 小田渡地下道
- 瑞浪市役所
- （一）上山田寺河戸線 上野地下道
- 国道19号 小田第2地下横断歩道
- 国道19号 小田第3地下横断歩道
- 国道19号 小田第4地下横断歩道
- 国道19号 小田第5地下横断歩道
- 国道19号 小田第6地下横断歩道
- 国道19号 下益見地下横断歩道
- 国道19号 山野内地下横断歩道

■【瑞浪市教育長 伊藤委員】

市内小中学校において、防災教育のさらなる充実を進める必要があると再確認しました。「命を守る訓練」の実施内容、実施時期、実施時間等々、各校の実践の交流を進め、より充実した訓練にしていこうと思います。子どもたちの意識の根底に「自分のいのちは自分で守る」をきちんと位置づけたいと思います。